

第26回県団体のいわき市

勿来工が5連覇

空手道

男子に湯本準優勝

団体

女子

準優勝

男子

女子

準優勝

海外公あれコレ

ある夜、カリフォルニア州の某地方紙の記者ジユディ・スタンレーが、編集室で仕事をしていると、電話のベルが鳴った。受話器を取ると――

「オレは○○。お前さんとこの今朝の新聞に載った脱獄囚さ。わざわざこうして電話したわけは、あの間違い記事を訂正してもらいたいからだ。新聞によると、オレは凶器を使って他人に暴行を加え、不渡り小切手を出し、酔っぱらい運転をした罪で6ヶ月の懲役に服していたと書いてあるが、それはないぜ。たぶん、保安官の方をうのみにして、そのまま記事にしたんだろう。訂正してもらいたいな」

●電話で訂正記事要求した脱獄囚●

「なるほど、なるほど。おっしゃるとおり、新聞の記事は正確でなければなりませんね。これからあなたの本当のお話を聞いて、記事にし明日の朝刊に訂正記事を出させていただきますから、どうぞゆっくりと話してください」

話し中御用!

それから1時間後、電話の逆探知で、脱獄囚は記者とまだ話し中のところを逮捕されたと、A P電は伝えているが、なんとまあ純情な脱獄囚だこそ……

正しい使い方を心得

販売方法にも問題あり?

一危害情報室



9日(月)
開店!

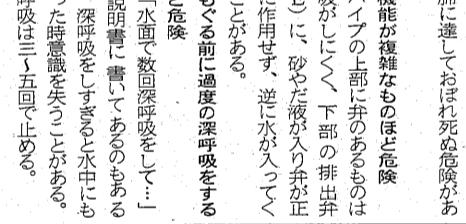
弁当
オール半額
(9日・10日)



おいしいかまぼこ
(無漂白)
源助

株式会社 志賀四郎商店
いわき市平野坂字中街11 ⑨(39)3500代

安全対策



現在販売中止されている。

水に潜った時水圧でポンがかかる。

●機能が複雑なものほど危険

パイプの上部に弁のあるものは

呼吸がしづらくなれば、誤って突

然水を吸い込んだ場合には、海水

が肺に吸入され、死んでしまう。

特集

生きている

桜が終わって、新緑の美しさ。逸に出会いと、昔の恋人にでもが心の中また洗つたように胸がときどく、私は無性に鯛が食べたくなって、テレビなどで豪華な鯛豆が食卓を賑わす今の季節になると、私は鯛が食べたくなって、テレビなどで豪華な鯛豆が食卓を賑わす今の季節になると、私は無性に鯛が食べたくなって、テレビなどで豪華な鯛豆が食卓を賑わす今の季節になると、私は無性に鯛が食べたくなって、テレビなどで豪華な鯛豆が食卓を賑わす今の季節になると、私は無性に鯛が食べたくなって、テレビなどで豪華な鯛豆が食卓を賑わす今の季節

め、つい会ったように胸がときどく、ため息が止まるのである。

こと、それ程熱望していた願い

私にとっては、思い残すことのない満足なものであった。

兄弟の多かったのは楽しいことであったが、みんなたんだんと一年をとて、一人欠け、二人欠け、なかには遅出の出来なくなつた兄もあって、せめて元気な

うちに、元気な者だけでも一年一

か、兄がわざわざ出迎えに来ることで、東北に長く住んでいた私達は、飛行場もよく知ら

り立つた。東北に長く住んでいた私達は、飛行場もよく知ら

たしか、河庄といつたの

亭は上の娘が結婚する時も

来てことがあったが、なかなか

まことにした美人の仲居(なか

(な)の)の身の白さが印象に残

ついた。兄が「刺身と鯛の

あらだき、鯛の骨(いづつ)むく

それに本鯛の焼いたのが美味しい」と注文してくれて、私は

夢にまでみた鯛に口に向かれたのである。あらだきの骨も

しづめの下足五(いやご)十(さ)

はあらうと思われる鯛の頭の部分を、あらだきは田か

らす、辛からず、こつこつと

た味で煮付けられ、香りのよい

細い新年粥(ことばつ)

が付合せになつて、大き

きな素焼きの土鍋から湯気が

蒸つた。自分の顔が入る位の大きさ

鍋だったので、まあ夢中で食

べていると、まるで鍋の中へ顔

を突つこんでいるみたい見え

て、「あんまりがつがつ食うな

のにおいをかぎながら、金魚す

ぐいや冷やあめ、風船屋や綿

縁日の夜店を

人達は田中、二百円を箱の中に

放込んで、川の風と旅の気

さと、ひとときの踊りを楽しむ

わけである。

もう何年先まで、こうして兄

弟が、元気を集まるがどうか

そんな想いはいらない、貴

やわらかく、赤貝は、青い磯

の香りを「いっぽいに広げて、

博多自慢の活魚料理」というこ

とに決して、福岡一の繁華街

中州(なかす)へと、一年振り

の再会の喜びをかみしめながら

夕暮れ時の離路の中に身をまか

せたのである。

はお酒の強い男達に交

じって、気が大きくなつたのか、

老のおりも、身がひくひく動

きそういで、いつの間にか舌

の上で溶けてしまうのが不思議

であった。お酒の強い男達に交

じりしたツマとよく適つた。東海

ビルに、日本酒を重ねく、

最後にお茶漬けをさうざらと食

べたのは、一番端の私だけで、

お前は相変わらずよう食う

まいとした美人の仲居(なか

な)といつよくな顔で、兄が笑

ついた。

たが、飼を含ませるが、食

がしい感じで初夏の風によく似

べることの好きない」というよ

り、食べる」とお好きなもの

と「は、ピロードのよう舌

のなくなつたお年寄りというこ

と一連中のことで、早速夕食

の香りを「いっぽいに広げて、

若松 紀志子

題字と文

若松 光一郎

鯛のあらだき

若松 紀志子
光一郎

うち、元気な者だけでも一年一
よくながした。

うちに、元気な者だけでも一年一
よくながした。



（第三種郵便物認可）
いわき民報 (夕刊)
昭和55年(1980年) 6月 7日 (土曜日) 第10567号 (10)
市博物館建設調査委員会
収集方針を決める
柴田善登新作油絵展
から二ユーリやくなげ会館
12日
昭和六年から二十八年三月まで
第一の故郷いわき市平初の個展
で、磐城高校美術科教諭だった新
制作協会員柴田善登画伯さんが
県北部の隣接地域
さいにいわき

（第三種郵便物認可）
いわき民報 (夕刊)
昭和55年(1980年) 6月 7日 (土曜日) 第10567号 (10)
市博物館建設調査委員会
市立博物館の建設準備を進めてい
る。いわき市博物館建設調査委員
会は五年前後、労働福祉会館を開
かれた。
委員会には十八人の委員のほか、田畠市長が出席。初めて同
市長が博物館は市制二十周年の
記念事業として、いわきニュータ
ウンの中に建設することが決まつ
ているが、市民のだれもが喜べる
ようならず、博覧会にたいして、
今後とも協力をお願いしま
す」と述べた。

続いて、五十四年度の経過調
査報告があった。それによると、
昨年七月に設置された博物館資料
調査委員会から地質、生物、考古
歴など七部門に合わせて二百三
十七件の資料調査票が提出され、
この中にはかなり貴重な資料も含
まれていることがわかった。この
ため、今年度はさらに調査を重ね
ていくことになった。
今後の課題として、資料の収集
については、その調査範囲は市内
に限らず相及地区をはじめ、茨城
県北部の隣接地域

（第三種郵便物認可）
いわき民報 (夕刊)
昭和55年(1980年) 6月 7日 (土曜日) 第10567号 (10)
市博物館建設調査委員会
市博物館建設調査委員会

市博物館建設
調査委員会

市博物館建設
調査委員会

資料は広く国内外へ

のが実った。

同画伯が東京美校を卒業して赴

任したときの五年生に、故鎌木新

夫画伯や若松光一郎画伯がおり、

新制高校第一回卒の田口安男画伯

(東京芸大助教授・安井賞作家)

も教え子の一人。

鎌木三十九回同期会は坂本行
蔵、井坂進三、足立貢一氏が発
起人となり、金鏡中の十四日午後
五時から、同金鏡、柴田善登を迎
え、個展開催権利を兼ねたクラス
会を開こうと決めた。また第三
十七回同期会(山家豊三代表)も
十六日に、臨時クラス会を開く
ことを計画中だ。

（第三種郵便物認可）
いわき民報 (夕刊)
昭和55年(1980年) 6月 7日 (土曜日) 第10567号 (10)
市博物館建設調査委員会
市博物館建設調査委員会

くらし

隨筆

の

かづかわらず、そうすること

が当然であるかのよこい、そ

のくわはしからもらつてい

る。

しかも、彼女達は別にそ

れぞれが餌をむさぼつている

のである。

じーっと耳を澄ましてみる。

周囲の騒々しいこと、いろん

な鳥達のさえする音、鶏の

鳴声、周辺で鶏を銅つて

いる家が二、三ある。どか

は先達どな「コツコツコ

ト」、導く「コツコツコ」と誘

導し、食物うき

ものに遭遇すると

じやらうことがある。雄飛り

運動のため、小屋から解放

してやることもある。雄飛り

の雄飛りが「とき

の声」をあげるとい

次々と連鎖反応を

起す。我が家に

もいる。

くらし

筆

の

からくらばへと与えている

のである。彼女達は十分にひ

とりでいっぱい能力があるこ

とがわかる、そうすること

が当然であるかのよこい、そ

のくわはしからもらつてい

る。

しかも、彼女達は別にそ

れぞれが餌をむさぼつている

のである。

じやらうことがある。雄飛り

運動のため、小屋から解放

してやることもある。雄飛り

の雄飛りが「とき

の声」をあげるとい

次々と連鎖反応を

起す。我が家に

もいる。

くらし

筆

の

からくらばへと与えている

のである。彼女達は十分にひ

とりでいっぱい能力があるこ

とがわかる、そうすること

が当然であるかのよこい、そ

のくわはしからもらつてい

る。

しかも、彼女達は別にそ

れぞれが餌をむさぼつている

のである。

じやらうことがある。雄飛り

運動のため、小屋から解放

してやることもある。雄飛り

の雄飛りが「とき

の声」をあげるとい

次々と連鎖反応を

起す。我が家に

もいる。

くらし

筆

の

からくらばへと与えている

のである。彼女達は十分にひ

とりでいっぱい能力があるこ

とがわかる、そうすること

が当然であるかのよこい、そ

のくわはしからもらつてい

る。

しかも、彼女達は別にそ

れぞれが餌をむさぼつている

のである。

じやらうことがある。雄飛り

運動のため、小屋から解放

してやることもある。雄飛り

の雄飛りが「とき

の声」をあげるとい

次々と連鎖反応を

起す。我が家に

もいる。

くらし

筆

の

からくらばへと与えている

のである。彼女達は十分にひ

とりでいっぱい能力があるこ

とがわかる、そうすること

が当然であるかのよこい、そ

のくわはしからもらつてい

る。

しかも、彼女達は別にそ

れぞれが餌をむさぼつている

のである。

じやらうことがある。雄飛り

運動のため、小屋から解放

してやることもある。雄飛り

の雄飛りが「とき

の声」をあげるとい

次々と連鎖反応を

起す。我が家に

もいる。

くらし

筆

の

からくらばへと与えている

のである。彼女達は十分にひ

とりでいっぱい能力があるこ

とがわかる、そうすること

が当然であるかのよこい、そ

のくわはしからもらつてい

る。

しかも、彼女達は別にそ

れぞれが餌をむさぼつている

のである。

じやらうことがある。雄飛り

運動のため、小屋から解放

してやることもある。雄飛り

の雄飛りが「とき

の声」をあげるとい

次々と連鎖反応を

起す。我が家に

もいる。

くらし

筆

の

からくらばへと与えている

のである。彼女達は十分にひ

とりでいっぱい能力があるこ

とがわかる、そうすること

が当然であるかのよこい、そ

のくわはしからもらつてい

る。

しかも、彼女達は別にそ

れぞれが餌をむさぼつている

のである。

じやらうことがある。雄飛り

